

「子供との距離間を考える」のまとめ

<終わりに>

「子育て四訓」の考え方については、頭の中では理解できていても、「今、うちの子供にはどういう距離感が適切なのか？」と悩むことも多いと思います。

そこで、その“目安”とといいますか、考え方についてのイメージをお伝えして、今回のテーマを終わりにしたいと思います。

それは、「サーカスの空中ブランコ」です。ご存じの通り、空中ブランコは大変危険な演技です。いくらプロと言っても、万が一のことがあれば、命を失う危険性が潜んでいます。しかし、見ている者をハラハラさせるあの演技を堂々で行うことができるには、“理由”があります。それは、下に張り巡らされているセーフティーネットの存在です。いくらプロであったとしても、あのネットがあるかないかでは、危険な演技に挑戦しようとする気持ちに大きな差がでることでしょう。

このネットを、子供との距離感のイメージとして捉えてみてください。

発達段階に応じて子供とネットとの距離は異なりますが、最大限に離れていたとしても、命を落とすことは絶対はない。言い換えれば、「失敗しても大丈夫！」というメッセージを発信することができる“空中ブランコのネット”としての存在であることをお子様に示してあげてください。

当然のことではありますが、決して、ネットを取り外してしまうようなことがないように。そして、日々、挑戦し失敗し続けながらも、一步一步成長できる立派な大人になれるように育ててあげてください。